

令和4年度 第6回住民自治協議会連絡会 議事概要

1. 日時：2023年（令和5年）3月24日（金） 10：00～12：00
2. 場所：市役所5階会議室
3. 参加者：沼間小学校区地域連合会（住民自治協議会）（曾志、江連）
池子小学校区住民自治協議会（田宮、鈴木、中川）
久木小学校区住民自治協議会（山崎、石井、海野）
小坪小学校区住民自治協議会（吉田、豊角、原田）
※敬称略
地域担当職員リーダー（須田透環境都市部次長、仁科英子経営企画部次長、青柳大典環境都市部次長、佐藤多佳子教育部次長）
環境都市課（坂本秀文環境都市係長）
市民協働部（岩佐正朗部長、石井聡市民協働課長、西久美子市民協働係長、今野仁介市民協働課主事（議事録作成者））
4. 議事
 1. 地域の公共交通について…環境都市課
 2. 各住民自治協議会の活動に関する意見交換
 3. その他（地域づくり交付金について）
5. 資料
 1. 逗子市における地域公共交通について（環境都市課）
 2. 情報交換テーマ一覧
 3. KJK（小坪住民協広報誌 Vol. 7）
 4. 令和5年度地域づくり交付金（全小学校区）
6. 概要

議事1 地域の公共交通について

●資料1「逗子市における地域公共交通について」を用いて、環境都市課より説明があった。
《意見概要》

（池子）

・逗子市が主体となって、今後公共交通に取り組むということか。また、利用料を徴収して運行することについて法的に問題ないのか。

（青柳大典環境都市部次長）

・各地域と情報共有を実施しながら、先進事例の調査研究を行ったうえで、それぞれの地域に適した方法を検討していきたい。利用料の徴収については、車両に緑ナンバーを取り付ければ法的に問題はない。

(池子)

- ・利用料の金額設定も決まっているのか。

(青柳大典環境都市部次長)

- ・今後具体的に話を進めていく中で検討する。

(久木)

- ・停留所を設ける予定はあるのか。

(青柳大典環境都市部次長)

- ・状況によるが、停留所を設けた方が利用者から認識され、場所が分かりやすいことは間違いない。

(久木)

- ・京急バス等に対して、交通網が弱い場所にルートを延伸してもらうようお願いすることはできないのか。

(青柳大典環境都市部次長)

- ・利用需要との兼ね合いや、ルート変更に係る国交省への許認可の部分で、かなり労力がかかってしまうのが現状で、既存の路線の拡充はあっても全体ルートの見直しは難しいものとする。また、運転手不足は深刻な問題のようである。

(久木)

- ・今後の市の高齢化の状況を考えると、公共交通へのニーズの増加は間違いなく、バス会社との交渉も粘り強く行って欲しい。

(池子)

- ・運転手不足ということだが、免許さえあれば運転できるのか。

(青柳大典環境都市部次長)

- ・利用料を徴収するというのであれば、普通二種免許が必要となり、大型二種免許でバスも運転可能であるが、運転手の運転技術の担保等も問題になってくる。

(小坪)

- ・運転手はボランティアでという案もあるようだが、その場合の保険関係はどのような取り扱いとなるのか。

(青柳大典環境都市部次長)

- ・運営主体側の保険でカバーできればいいのだが、ボランティアの方自身が加入している保険で対応している実態もあるようである。

(池子)

- ・バス路線の増減について、市に相談はあるのか。

(青柳大典環境都市部次長)

- ・基本的にバス会社から、増減がある場合には報告を受けており、現在、小坪、ハイランド地区の路線でも相談を受けている。

- 資料「デマンドタクシーの実証試験の概要について」を用いて、沼間小学校区地域連合会より説明があった。

《意見概要》

(久木)

- ・アーデンヒル自治会の世帯数、人数はどれくらいか。

(沼間)

・約 550 世帯で 1500 人程度ではないか。勤め人も多くいるものの、通勤の朝夕に運行しなければ乗ってもらうのが難しいかもしれない。ただ、日中買い物をする高齢者が多くいること、免許を返納する方も増えていくこと等も想定すると、さらにニーズは拡大すると感じている。

(池子)

- ・幼稚園バス、福祉バスを活用する方法も考えられるかもしれない。

(青柳大典環境都市部次長)

・車両や運転手が用意できたとしても、運行路線や利用料金等のことを総合的に検討したうえで、持続可能な形で制度化するということが非常に難しい。

(池子)

- ・パブリックサービスへのアプローチも考えられる。

(沼間)

・この時間で公共交通の問題に対して答えを出すことは難しいと感じる。公共交通の議題を各住民協に持ち帰って議論を重ね、必要に応じて環境都市課とも協議し、連絡会でも情報共有出来ればと思う。

(青柳大典環境都市部次長)

・各住民協が個別に考える困りごと等を共有していただき、本当に地域で必要としている公共交通というものを一緒に考えていきたい。

(池子)

・東逗子駅前に集約施設の建設が予定されているが、アザリエ地域から東逗子駅までのバスが通っておらず、高齢者にとっても不便な状況である。公共交通が充実することは、東逗子の発展にもつながると思うので、しっかりと検討を重ねていくべきである。

(石井聡市民協働課長)

・本日の説明を踏まえ、各住民協でも公共交通の問題については議論いただき、状況に応じて情報共有が出来ればと考えている。

議事 2 「各住民自治協議会の活動に関する意見交換」について

●桜山ブロック準備会について、2月8日の総会をもって閉会したことを市民協働課より報告した。

【沼間小学校区地域連合会】

- ・防災マップについて、他の住民協のものを参考にさせていただき、沼間地区らしいものにリニューアルすることができた。
- ・年に1度の広報誌（連合会だより）も完成し、広報ずし、防災マップと併せて全戸配布を

予定している。

・5月の総会に向け、活動計画、予算、会計の資料をまとめており、会員、自治会から活動に対しての要望を募っている。

《意見概要》

(久木)

・沼間住民協の正式名称は、沼間小学校区地域連合会となっているのか。

(沼間)

・市が住民自治協議会という制度を考える前から、自治会の連合組織として「沼間小学校区地域連合会」が存在しており、その当時の名称を引き継いでいるという状況である。

【小坪住民協】

・KJK（小坪住民協広報誌）を3月に発行した（配布資料参照）。前回もお伝えしていたコツボノツボ展という展覧会を交流センターで実施でき（3/8(水)～3/15(水)）、非常に好評だった。

・4月20日に総会を実施予定となっている（人数制限あり）。

《意見概要》

(久木)

・展覧会は、展示作品に順位をつけたのか。ハイランドでも桜の写真展を実施予定で参考にしたい。

(小坪)

・順位はつけていない。今回会場とした交流センターの展示スペースは、非常に使いやすい場所だった。

【池子住民協】

・市の空き家対策の補助金制度を用いて、池子地区に地域の図書館を作ることができた。

《意見概要》

(久木)

・図書館の運営資金はどうなっているか。

(池子)

・寄付や交付金を用いている。人員の配置は課題であるが、家主と良い関係性を築くことができた。

(石井聡市民協働課長)

・市民協働課が所管する制度で、地域の市民活動団体等が空き家を拠点として活動できるよう支援する仕組みがあり、池子住民協もこの制度を活用した形となる。制度の概要として、活動者が空き家を無料で借り受けた場合に、固定資産税・都市計画税相当額を家主に交付金として支払うというもので、家主側にもメリットを示し、空き家を貸しやすくなるよう意図している（活動団体は2団体以上、150日以上活動日数、1年以上借り受ける契約とする等の条件あり）。

(小坪)

- ・今回はどのような経緯で家主とつながったのか。

(池子)

- ・家主がズシップに関わる方で、以前から知り合いだった。

(小坪)

- ・この制度を利用しようとした時、市はどのような協力をしてくれるのか。

(石井聡市民協働課長)

- ・制度について詳細な説明をさせていただき、空き家の担当であるまちづくり景観課とも協力し、契約書の作成の補助等も行うことができる。

【久木住民協】

- ・5月6日に総会を実施する予定となっている。
- ・9月に実施した若手住民主体の座談会が好評だったため、3月にその次のステップとして、若手住民を集めてワークショップの実施を予定していたが、人数の募集状況を見て、フリートークセッションへと変更のうえで実施した。
- ・先日久木会館でWBCのパブリックビューイングを実施し、約60名が参加する規模のイベントとなり、非常に盛況であった。
- ・ハイランド地区の空き家について、件数調査を行っており、昨年その数が減ったように思えたものの、直近の調査では再度増えているように感じた。また、最近は住民の入れ替わりもあり、新築な小ぶりな家が増えている印象を受ける。

議事3 その他（地域づくり交付金について）

(石井聡市民協働課長)

- ・来年度の地域づくり交付金の額が決定し、各住民協に決定通知書をお渡ししたところである。今後、交付金の支払いに向けた事務対応をお願いしたい。
- ・交付金の決算について、提出後に修正いただき再提出をお願いしてしまっているケースがある。今年度決算については、提出前の段階のものを確認させていただき、再提出をお願いすることのないよう調整させていただきたい。